

経営探訪

management report

林泉堂
株式会社代表取締役
林 博樹
Hiroki Hayashi笑顔あふれる食文化を
全国、世界に届ける

「林泉堂、ボンボン♪」のテレビCMでおなじみ、横手市十文字町で製麺業を営む「林泉堂」。「秋田比内地鶏ラーメン」「ギバサ涼めん」などヒット商品を次々と開発し、県内のみならず全国へと販路を拡大している。以前は営業エリアを地元と近隣市町村のみとしていた同社が、全国に名を轟かす存在になった背景を探った。

❖ 穀物商、冷凍製造から製麺業へ

林泉堂の前身は穀物商。明治時代に林博樹社長の曾祖父が創業した。戦後、林社長の祖父が個人商店として林泉堂を起し、「アイスキャンデー」の製造販売を始めた。冬期の仕事の確保のために現会長が製麺業を始め、現在も主力商品である「十文字ラーメン」や「比内地鶏ラーメン」が誕生。現在は「製麺事業」「乳製品宅配事業」「ネット通販事業」の3事業を展開。秋田市と由利本荘市に営業所、秋田ふるさと村や十文字ラッキーなど県内4ヶ所に直営の飲食店を構え、中国とモンゴルにグループ会社を持つ。

林社長は1993年に当時の合名会社林泉堂に営業として入社。2005年から現職を務める。現在まで、ケータリングサービスカーの導入（秋田県第1号認可）、モンドセレクションへの挑戦、「ギバサ涼めん」の開発、

乳製品宅配事業への参入、「横手やきそば」の商品化、モンゴルへのラーメン店出店、ネット通販事業の開始など、次々と新しいことに挑戦し、それまで営業エリアを県南に限定していた同社を県内屈指の食品メーカーに成長させた。

❖ ユニークな商品が生まれる背景

「ギバサ涼めん」は、ギバサを食品原料として使うメーカーが無い中、「秋田らしい商品を作ろう」と開発。林社長が自ら男鹿に出向き漁に同行。収穫したギバサを買い付け、鹿児島や岩手まで運んで加工し、完成させた。

それまで無名だった「横手やきそば」がテレビで紹介されたことと知ると、商機を逃すまいと企画・試作から1週間で商品化を実現、ヒット商品に。09年の「第4回B-1グランプリin横手」で横手やきそば暖簾会がゴールドグ

ランプリに輝き、「横手やきそば」は全国に知られる存在となった。

「ギバサ」も「横手やきそば」も開発当時は地味な存在だったが、今やどちらも人気の食品。林社長の先見の明が光る。

同社は、麺からスープ類の製造まで一貫して自社で行える県内唯一の企業。専門メーカーにOEMでスープ製造を依頼する業者が多い中、スープやソースの調合、充填まで自社で行うため、企画決定、製造、商品化までワンストップで行えることが強みだ。思いをスピーディーかつダイレクトに反映できる体制がヒットを生む背景にある。また、林社長は経営をトップダウン型からボトムアップ型に切り替えた。「社員から『こんなことをやってみたい』とアイデアや計画が出てくるようになった。それに対して私は『どんどんやってみよう!』というスタンス」。個性豊かな同社の製品は、現在200種類にも及ぶ。

❖ 秋田・日本の味や文化を世界へ

09年から本格参入したネット通販事業は好調で、楽天市場で「秋田比内地鶏ラーメン」は人気ランキング上位の常連。ラーメン部門「グルメ大賞」を12年から5

年連続受賞している。林社長が力を入れるのは地産外商。地域密着だけでなく、秋田の味を全国に届けようと力を注ぐ。「製麺業者は、ただ麺を練っているだけでは存在価値がなくなる。外に向けた情報提供能力、発信力がないと生き残れない。秋田の素晴らしい食材や文化をどんどん外に発信したい。今後は海外での事業展開も進めたい。」

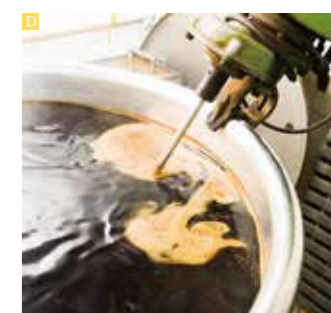
この10年間、イスラム教徒用のハラル食品の開発を続けてきた。15年にはハラル対応食品として生麺タイプラーメンの市販製品を日本で初めて発表。東京オリンピックなどを視野に外国人向けの商品開発に挑む。

4月には新商品「稲庭ラーメン」を発売する。15年に食品のミシュランガイドとも称される国際的コンクール「スーベリア テイスト アワード」において、ラーメンとして世界で初めて優秀味覚賞最高評価3つ星を受賞した商品で、稲庭うどんのなめらかな喉越しをそのままに中華麺にアレンジした。

企業理念は「笑顔あふれる食文化の提供を通じて、みんなの夢を実現する」。企業目標は「世界一の笑顔創造企業になる」。秋田および日本の味と文化を世界に広めようとさまざまなチャレンジを続けている。



- A 「稲庭ラーメン」は、稲庭うどん同様、職人による「手延べ」の技法で作られている。
- B 「ギバサ涼めん」のパッケージング作業。
- C 製麺作業（写真は「ギバサ涼めん」）。麺の太さや長さは商品によって変えられる。
- D スープやソースの製造は、工場内の一室で行われている。
- E 同社製品「黒挽きそば」と「比内地鶏ラーメン」はモンドセレクションで16年連続受賞。同社にはメダルがずらりと並び、写真に写っているのはほんの一部。



林泉堂 株式会社

〒019-0505 横手市十文字町仁井田字八萩101
TEL. 0182-42-5500 <http://rinsendo.com>

- 設立/昭和22年
- 資本金/4,000万円
- 従業員数/正社員39人・パート20人
- 事業内容/製麺業、乳製品宅配事業、ネット通販事業

※ 経営探訪は、センター利用企業を掲載しています。